

2021年6月11日

各位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 増田 要
 (コード番号：8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古川 尚志
 問合せ先 取締役 企画本部長 花村 誠
 TEL：03-6422-0530

「CASBEE 建築評価認証」取得に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、保有するオリエンタルホテル福岡 博多ステーション（以下「本ホテル」といいます。）について、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構より認定を受けた CASBEE 評価認証機関より、「CASBEE 建築評価認証」（B+ランク（良い））を取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. CASBEE 建築評価認証制度の概要

CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency / 「建築環境総合性能評価 システム」) は、建築物の環境性能を評価し格付けするもので、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

CASBEE 建築評価認証は、CASBEE-建築（新築）、（既存）、（改修）のいずれかで評価され、この度取得したCASBEE-建築（既存）は、竣工後1年以上経過した建築物を対象として、年間の運用実績、建物の劣化状況や室内環境などについて評価するものです。取得ポイントによって「S ランク（素晴らしい）」「A ランク（大変良い）」「B+ランク（良い）」「B-ランク（やや劣る）」及び「C ランク（劣る）」の5段階に格付けされます。

2. CASBEE 建築評価認証制度における評価

評価を受けた物件		評価ランク	評価のポイント	
オリエンタルホテル福岡 博多ステーション			<ul style="list-style-type: none"> ・空調等の設備機器類が最新のものに更新されエネルギー効率化が図られている ・節水型衛生器具や雑排水再利用設備が採用されており水資源保護の取組みがされている ・ゴミ等の廃棄物処理負荷抑制を積極的に行い地球環境への配慮がなされている 	
外観写真				
所在地				福岡県福岡市
竣工時期				1985年8月

3. CASBEE 建築評価認証取得の意義

築年数がある程度経過したホテルは、構造や設備面においてエネルギー効率が低い傾向にあるため、本投資法人では、省エネルギー性能の高い機器への更新や設備管理のオペレーションの最適化などの施策により、ホテルのエネルギー利用の効率化を継続的に進めてまいりました。

本ホテルは2019年4月のリブランドに伴う改修工事（以下「本改修工事」といいます。）に際し、特にエネルギー利用の効率化を進めたことから、CASBEE-建築（既存）認証を取得することとしました。国内ではホテルを評価対象とするグリーンビル認証制度が限られるなか、既存ホテルとしては本投資法人が所有するヒルトン東京お台場に次ぐ二件目のCASBEE-建築認証の取得となります。

なお、本改修工事には、ジャパン・ホテル・リート投資法人第12回無担保投資法人債（グリーンボンド）により調達した資金を充当しております。

4. 本投資法人の今後の取組み

本投資法人は、ESGに配慮した不動産投資運用が投資主価値及び本投資法人の魅力を高める上で重要であると考え、資産運用会社と共同で策定した「サステナビリティに関する方針」に基づき各種取組みを実行しています。

本投資法人のサステナビリティに関する方針や取組み事例については以下をご参照ください。

*本投資法人のサステナビリティへの取組み：<https://www.jhrth.co.jp/ja/about/sustainability.html>

以 上

*本投資法人のホームページアドレス：<https://www.jhrth.co.jp/>